

一般社団法人全国専門学校情報教育協会(研修委員会)
平成28年度 研修ニーズアンケート
理事長・校長

●調査時期

平成28年3月15日～平成28年4月11日

●発送数 74 件(校)

●回答数 11 件

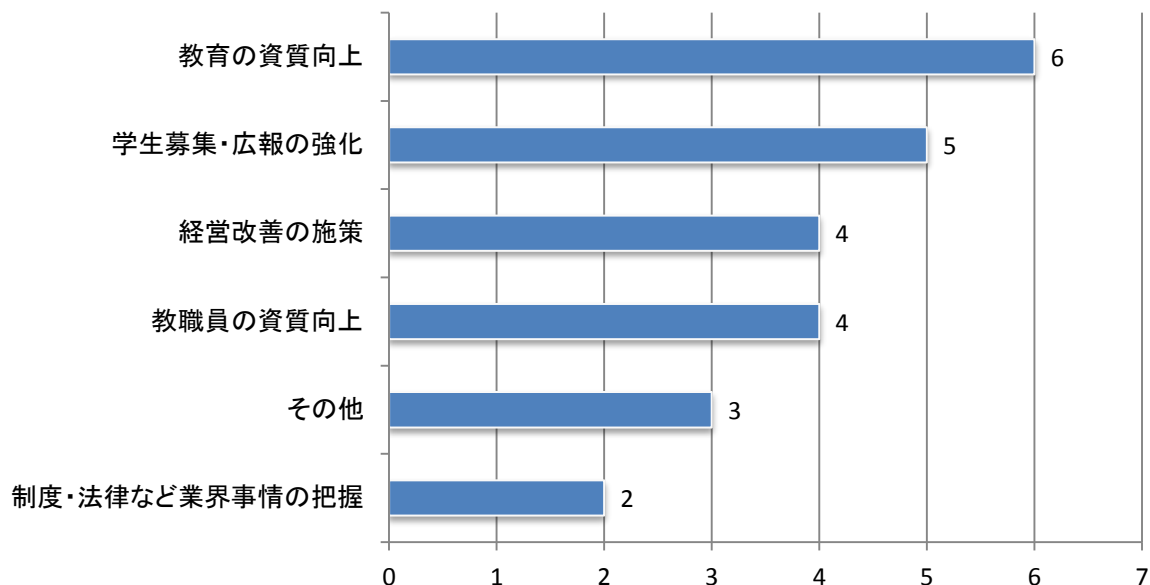
●協力校数 11 校

●回答率 14.9 %

問1. 学校経営上の課題として、緊急性が高いと感じているものに○を付けてください。

S.no	項目	回答	%
1	教育の資質向上	6	54.5%
2	学生募集・広報の強化	5	45.5%
3	経営改善の施策	4	36.4%
4	教職員の資質向上	4	36.4%
5	その他	3	27.3%
6	制度・法律など業界事情の把握	2	18.2%
	合計	24	-

※%の母数は回答者数(=11)、複数回答、回答多い順に並べ替え



【その他の回答】

- ・発達障害もしくはそれに準ずる学生の受入指導について
- ・留学生への対応
- ・教員確保

問2. 職業実践専門課程導入にあたり、抱えている問題・課題等がございましたらお書きください。

- ・文書類(議事録など含む)の整備
- ・第三者評価の導入
- ・職業実践専門課程認定学科として職業実践教育の充実
- ・第三者評価の実施ができていません。
- ・新学校種への対応

問3. 現在困っていることや、抱えている問題・課題等がございましたらお書きください。

- ・IT系職種の将来に希望を抱かせる資料等の整備、啓蒙活動
- ・留学生への対応
- ・IT系分野の仕事に対しての「低人気。関心度の低さ。業界のイメージの悪さ。」を払拭する対策
また、活動の必要性。
- ・デジタルエンタテインメント向け教員不足
- ・行政が行う専修学校に対する施策
- ・日本人入学者の減少
- ・日本語・留学生への取組み

問4.学校経営上の課題を解決するために、どのような研修・セミナーがあったら良いと思いますか？

S.No	研修テーマ	内容	形式	対象者	日数	実施時期
■教員の教育力向上：技術習得、技術情報交換、組織的な資質向上など						
1	教育の資質向上	見えないものを可視化していくためには	情報収集型	経営者	半日	特になし
■学生指導：メンタルヘルスケア（カウンセリング）、発達障害に対するケア、コミュニケーション力向上など						
2	発達障害への対応	発達障害もしくはレインボウカラー（境界）の学生の対応方法について	情報収集型	教務	2日	2～3月
3	学生のドロップ未然防止	休学・退学・除籍を未然に防止するには？	事例紹介	限定せず	半日	随時
4	学生の成長実感	学生生活で成長を実感させるにはどんな手法がいいのか	情報収集型	経営者	半日	特になし
5	リテンション対策	・学生の居場所作り ・仲間作り ・クラスの雰囲気作り	座学 グループワーク	教員（担任）	1日	-
■企業連携、学校評価						
6	第三者評価について	専門職業大学を見すえた評価へのあり方。	事例and講演	管理者	1日	夏
■学生募集・広報など						
7	広告系	・SNS等のメディアを利用した広告 ・中学生対象の広告	情報収集型	広報系職員	1日	2～3月
8	若手層ニーズを理解する	15歳～18歳の時代背景から思考を知る。	-	広報担当者	2日	夏
■その他						
9	留学生への対応	特に日本の伝統やルールを理解させる方法等についての研修がほしい。	全体的なグループ研修	留学生担当者	-	-
10	他の大学、専門学校等の視察見学会	先進的な取り組みをしている他の大学、専門学校等の視察見学会	-	-	1日	-
11	経営事例発表・セミナー	-	-	理事長・学校長	1日	10月
12	職業専門大学認定に向けて今から準備・取り組んでおいたほうがよい具体的な情報を早めに提供していただきたいです	-	-	-	-	-
13	管理職研修	新学科研究、新技術トレンド視察	-	-	-	-
14	学校の視察（専門学校・大学）	教育の質向上、質保証に対して先進的に取り組んでいる学校の視察	視察	学校長・運営責任者	1～2日	-

問5. 視察してみたい場所（国内外）、内容の概略、適当と思われる期間（日数）を教えてください。

S.No	視察地	視察内容	何月頃	期間
1	ベトナム・ミャンマー・フィリピンなど	IT開発のオフショア開発現場、日本人エンジニアの活躍している会社（クリエイターでもOK）	-	5日くらい
2	GPC	ゲームデベロッパカンファレンス	3月	5日くらい
3	ベトナム	情報サービス産業の実態把握	9月頃	4日くらい
4	米国	最新技術、教育関係	-	5日～7日